



映画「人生フルーツ」の
ナレーションも好評な
樹木希林さんのインタビューが
『暮らしのおへそ』Vol.23に載っています！



定価：[本体1200円]+税
主婦と生活社

いらなくなった端切れを
モップの先につけて、毎朝掃除をするの。
部屋には、ほとんど何も無いから、
ひと拭きで終わっちゃう。
石けんは風呂場に1個あるだけ。
食器は、お湯と布で洗えばシツツときれいにな
時々、ひび割れている石けんをもらってきて、
おろし金でおろして、洗濯に使うこともある。

あれこれ考えるより
流れるままに生きています
「風が吹けば、結露が落ちる。
枯葉が落ちれば、土が肥える。
土が肥えれば、果実が実る。
こつこつ、ゆつくり。
人生、フルーツ」
愛知県春日井市で暮らす津端修一さん90歳と、奥さんおゆきが、庭で野菜
や果物を育て、収穫し、料理をして食
事をする—そんな「こつこつ、ゆつ
くり」とした日常を辿ったドキュメン
タリー映画「人生フルーツ」が今年1
月2日から公開されました。冒頭のフ
ロントは、樹木希林さんによるナレ
ーションです。淡々と語られる言葉は、

まるで天から降ってきた
如の人生と重なって、
み入ります。「さすが、
と思いきや、
「いやいや、流された
で最初から減るだけだ
と聞いてあつけないし
」子母はいささいし
すべてがわかつちや
「じゃない」と飄々と
「東京タワー オカ
オトン」では、飯
締めたオカンを、見
ている、歩いても
に生きている母、
監督「あん」では、
いたいと現れた、